

水の大事さ

山添村立山添中学校二年

菊岡 美乃里

私たちは日常生活の中で、飲み水や炊事、風呂、洗濯、トイレや飲食店などのお店などで、たくさん水を「生活用水」として使っていて、ほかにも工場などでの部品の洗浄や冷却などの「工業用水」や、お米などの各種農作物を育てるための「農業用水」などいろいろな目的でたくさん水が使われています。日本ではこれらの水は、空から降っている雨や雪が源となっています。降水量の総量を体積で表すと、1年間で約六六〇〇億立方メートルになります。一見見て見るとたくさん水があるように思えますが、そのうち約二〇〇億立方メートルは蒸発散により使えないです。また残りの約四三〇〇億立方メートルは私たちが利用できる水ですが、日本の地形は急な場所が多く、河川が短い。さらに梅雨期や台風期に雨が集中して降るため、ほとん

どの水は使われることなく海に流されてしま
います。私たちが使う事が出来る水は、約七
八五億立方メートルであり、降水量の約十%
に過ぎません。

私たちが毎日使う水の主な源は川の水であ
り、その大もとは空から降った雨水です。雨
を降らせるのは、海や陸の水が蒸発散して大
気中にできた雨雲です。そこから地上に降つ
た雨は川となったり、地下水となったりして
やがて海へ戻っていきます。そして海の水は
再び大気中に蒸発し、雲をつくって雨を降ら
せます。また地上に降った雨の一部は植物が
吸い上げ、葉などから大気中に蒸散して雲の
成因のひとつになります。

私たちは、その水の循環の中で、主に川か
ら水を利用して居るのです。上流、中流、下
流の流域全体の川の水を分け合い、水道用水
や農業用水などに利用しています。

ただ、川の水には、人間の体に有害な物質
やウイルス、大腸菌などの菌も含まれていま

す。そこで、浄水場などの施設をつくり、安全に使える水を得られるようにいろいろな取り組みが行われています。

台所やトイレ、風呂、洗濯などの家庭で使った水は再び川に戻り、海へと流れていきます。ただし、使った水をそのまま川や海などに流してしまうと、川や海が汚れ、生き物がすめなくなったり、私たちの健康に悪影響を及ぼしたりします。そこで、川や海のきれいな水を守るために、下水処理施設できれいな水にしてから、川に戻されます。

近年、川を流れる水の量が減少したり、水が頻発したり、水質が悪化したりなど水の循環にかかわる様々な問題があります。また水源林のある山村地域では、人口の減少、高齢化が進み、森林の管理がいきとどいていません。

健全な水循環のために自分たちができることは、節水をする。洗濯する回数を減らす、シャワーを流しっぱなしにしない、食器や手

を洗うとき流したまま洗わないや、地域の川や湖にゴミを流さない、食器の油汚れはいらない新聞紙や使った紙でまだ使えそうな紙で油分を拭き取ってから洗ったりなど自分たちが身近にできる事はいっぱいあります。

また水を大切にしていくことでSDGsの1つの目標を達成する事にも繋がります。

もし世界で水がなくなってしまうたら、世界で水を必要として生きている生物はすべて絶滅してしまいます。それぐらい大切な水がなくならせないためにも、自分たちにできることを一生懸命取り組み水を大切にしていく事が大切だと思います。